

基本情報						
教科・科目		社会・中2理科2		・授業で使用するもの 授業プリント ノートは基本使用しないため、使用は任意 iPad：調べ学習、ロイロノート、その他アプリ等の使用 補助教材：教科書）学校図書 科学2、学校図書 科学3 問題集）教育開発出版 中学の生物		
担当者		A・B組 古城戸香苗 C組 齋藤泰正				
評価割合（試験：試験外）		試験：5（50％） 試験外：5（50％）		※定期試験は50点満点で、理科1と同時にを行います。		
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		タンパク質や生物の特徴、仕組みなど生物の基礎についての知識を深める。		
		理知（思考力・判断力・表現力等）		丸暗記にとどまらず、なぜそのような構造ができているかを説明できるようになる。 複数の事例から共通点を相違点を取り出すことができる。		
		探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度）		得られた共通点や相違点を別の単元や別の教科、教科外のところでも見つけ、具体化し発信することができる。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4,5		感覚器官と運動のしくみ	生物は外部からの情報を得て生きている。ヒトの感覚器官を学びながら、他の生物がどのように情報を得るか結びつけられるようになる。	<input type="checkbox"/> ヒトはどのような感覚器官を持つのか。 <input type="checkbox"/> なぜヒトの目は騙されやすいのか。	・講義 ・グループワーク ・実験 ・クイズ大会	・小テスト ・提出物(レポート) ・プレゼン
6	定期試験① 6月1日ー6月3日 範囲) 感覚器官 筋肉と骨のメカニズム					
6,7		刺激と反応 生物の成長と無性生殖	ヒトが体を動かすとき、脳からの信号がどのように伝わることで体が動くのかを説明できるようになる。  生物の成長を細胞の成長に置き換え、言語化し、そこから無性生殖の仕組みと結びつけられるようになる。	<input type="checkbox"/> 膝の下を叩くと足が勝手に動くのはどのようなシステムで、なぜ必要なのか <input type="checkbox"/> 無性生殖とクローン技術はどのような共通点と相違点があるか	・講義 ・グループワーク ・実験 ・クイズ大会	・小テスト ・提出物(レポート) ・実験 ・プレゼン
7	定期試験② 7月15日ー7月17日 範囲) 刺激と反応、無性生殖					
8		有性生殖予習	有性生殖に関連する卵を観察し、体験による知識を増やす。  料理から実験の手順やレポートのまとめかたを学ぶ。	<input type="checkbox"/> 夏季休業中課題 卵を用いた料理レシピレポートの作成	・プレゼン ・レポート提出	・個別最適なライフプラン設計  ・夏季休業明けに発表
9		有性生殖と遺伝の規則	有性生殖のシステムについて学び、無性生殖との比較をすることで、メリットとデメリットを言語化することができる。  エンドウを用いたメンデルの遺伝の法則を学び、そこから他の生物の遺伝の規則を導き出すことができる。	<input type="checkbox"/> 有性生殖と無性生殖では、どちらの方がメリットが多いと考えられるか <input type="checkbox"/> タラちゃん血液型は何型の可能性があるのか	・講義 ・グループワーク ・実験 ・クイズ大会	・小テスト ・提出物(レポート) ・プレゼン
10		生物の変遷と進化	「生物は進化した」という発信をするために、どのような歴史、実験が行われてきたかを学び、進化と生物の分類に関連づけて進化の過程を説明することができる。	<input type="checkbox"/> 生物が進化したのなら、その証明はどのようにしたら良いのか <input type="checkbox"/> ポケモンの進化と生物の進化の違いは何か	・講義 ・グループワーク ・クイズ大会	・小テスト ・提出物(レポート) ・プレゼン
10	定期試験③ 10月21日ー10月23日 範囲) 有性生殖と遺伝の規則、生物の変遷と進化					
11,12		生物どうしのつながり 土の中の生物のはたらき 自然環境の調査と保全	微生物の役割を理解し、物質の循環が行われる生態系を小さなプラスチックボトルの中で表現し、記録をまとめることができる	<input type="checkbox"/> 小さなプラスチックボトルの中で生態系を作るにはどのようなものを入れたら良いか  <input type="checkbox"/> 古代生物が吐き出した二酸化炭素が巡って自分の体の一部になるにはどのような経路をたどる必要があるか	・講義 ・グループワーク ・クイズ大会	・小テスト ・提出物(レポート) ・プレゼン
12	定期試験④ 令和年 12月9日ー12月11日 範囲) 生物どうしのつながり、土の中の生物のはたらき、自然環境の調査と保全					
1,2		オリジナル実験とレポート、ポスターの作成（変更の可能性あり）	生物に関する問いを作ることができる その問いについて研究する方法を考えることができる データをまとめ、再現性が高いレポートと発表用ポスターを作ることができる 他者に影響を与えることができる	<input type="checkbox"/> 良質な問いはどのような思考で作ることができるか <input type="checkbox"/> 実験ノートはどうして必要なのか <input type="checkbox"/> 再現性が高いレポートはどのようにことに注意をしたら良いか <input type="checkbox"/> ポスター発表の際に適したポスターはどんなものか <input type="checkbox"/> 実験を自分の中だけで終わらせずに、他者や社会へ影響を与えるにはどのような行動をすべきか	・探究活動	・レポート ・ポスター ・プレゼン
3	定期試験⑤ 3月4日ー3月6日 範囲) 今まで学んだ中学生生物の内容					